Dionex IC技術説明会 2025

多様な分析で活躍するIC

本年は札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の全国6会場で開催いたします。多様な分析に活躍するイオンクロマトグラフィー（IC）の活用事例や、ICの原理や装置構成、分離に影響を与える要素、検出器の特徴などをわかりやすくご紹介いたします。また、ハロゲン、硫黄、フッ素などの分析で注目されている燃焼ICの基本原理や応用例を紹介します。さらに、Thermo Scientific™ Gallery™ ディスクリート方式自動分析装置の紹介と清涼飲料水やビールの測定例を交えた実践的な解説を行います。招待講演（東京・大阪のみ）では九州大学 生体防御医学研究所 メタボロミクス分野の髙橋政友さまに最新技術を取り入れたIC-MS活用方法をご講演いただきます。ICの基礎から最新情報までを学べるセミナーとなっております。皆さまのお越しをお待ち申し上げております。

開催概要

5/21（水） 名古屋（定員60名）
ウインクあいち
お申し込み期限：5/14（水）17:00まで

5/27（火） 札幌（定員50名）
デ・アウネ さっぽろ（札幌総合卸センター）
お申し込み期限：5/20（火）17:00まで

5/30（金） 仙台（定員50名）
トラストシティ カンファレンス・仙台
お申し込み期限：5/20（火）17:00まで

6/6（金） 福岡（定員50名）
日本経済新聞社　西部支社ビル
お申し込み期限：5/30（金）17:00まで

6/10（火） 大阪（定員100名）
千里ライフサイエンスセンター
お申し込み期限：6/3（火）17:00まで

6/16（月） 東京（定員150名）
大崎ブライトコアホール
お申し込み期限：6/9（月）17:00まで

※会場によりプログラムが一部異なります。
※各会場、先着順となります。また、お申し込み期限前でも定員に達した場合は、お申し込みを締め切らせていただきます。

プログラムは裏面をご覧ください。

お申し込みはこちら
thermofisher.com/jp-ic-seminar

東京・大阪	札幌・仙台・名古屋・福岡	プログラム	
12:30		受付開始	
13:00〜13:10		オープニング	
13:10〜14:00		**イオンクロマトグラフィーの基礎** 当社　クロマトグラフィー&マススペクトロメトリー事業本部	イオンクロマトグラフィー（IC）は、「イオン」に特化した分析手法で、幅広い分野に利用されています。さまざまなサンプルに合わせた分析を行うためには、ICの原理や仕組みを理解しておく必要があります。本講演ではICの基礎として、イオン交換の原理や、分離に影響を与える要素、検出器の種類と特徴などをわかりやすくご説明します。
14:00〜14:40		**IC-MSを用いたメタボロミクス研究事例の紹介〜親水性代謝物の高分離・高感度分析〜** 九州大学 生体防御医学研究所メタボロミクス分野　助教 髙橋政友　さま	メタボロミクスは、代謝物総体を対象とする研究領域であり、生体内に存在する低分子代謝物を網羅的に計測することをメタボローム解析と呼ぶ。これまでに我々は、イオンクロマトグラフィー質量分析（IC-MS）を用いて、親水性代謝物を対象とした極性メタボローム解析システムを構築し、生命活動を担う”代謝”に関する様々な知見の習得に成功している。本セミナーでは、各種メタボロミクス研究事例を交えながらIC/MSの活用法とその有用性について紹介する。
14:40〜15:10	14:00〜14:30	**基礎から学ぶ燃焼イオンクロマトグラフィーの世界** 当社　クロマトグラフィー&マススペクトロメトリー事業本部	ハロゲン（フッ素、塩素、臭素、ヨウ素）および硫黄は腐食性の有害化学物質で、環境汚染の原因になります。しかし、石油化学製品、気体サンプル、固体サンプル、および複雑な化学物質中に存在するこれらの分析対象物は、従来のICでは容易に測定できず、また、サンプル調製には費用と多大な労力がかかる場合があります。CICではこのような複雑なサンプル調製ステップを排除できます。本講演では、自動化されたCICの基本原理、装置構成、分析手順、および応用例について解説します。
15:10〜15:30		**休憩／ポスター展示**	
15:30〜16:00	14:30〜15:00	**実践的アプローチによるIC分析 ICテクニカルレポートNo.1 〜インジェクション編〜** 当社　クロマトグラフィー&マススペクトロメトリー事業本部	イオンクロマトグラフィーは、イオン性物質を高感度かつ高選択的に分離・定量する分析手法として幅広い分野で応用されています。使用用途が広がるにつれ、低濃度試料やマトリックスを含む試料など課題を抱えた試料の分析が求められるようになりました。本講演ではインジェクション方法の工夫でこれらの要求に応える分析手法を紹介し、その原理と使用方法について詳しく解説します。
	15:00〜15:20	**休憩／ポスター展示**	
16:00〜16:30	15:20〜15:50	**Galleryディスクリート方式自動分析装置のご紹介** 当社　クロマトグラフィー&マススペクトロメトリー事業本部	Galleryディスクリート方式自動分析装置は分注用プローブや分光光度計が搭載された、ディスクリート方式の自動分析装置です。サンプルや反応試薬の分取、個別セルにおける発色および検出、さらに結果の算出まで、各工程を自動で分析できます。また、比色法を用いた無機および有機物の測定や、サンプルのpHおよび総電気伝導度も測定可能です。本講演ではGallery分析装置のご紹介と、清涼飲料水やビールなどの測定例を挙げながらご説明します。
	15:50〜16:10	**ICこぼれ話**	水道水質検査法におけるシアン化物イオンおよび塩化シアン測定の改正や有害大気汚染物質測定方法における大気粉じん中の六価クロム化合物測定の注意事項について、希釈の自動化について、最新アプリケーションをご紹介します。
16:30~16:50	16:10〜16:30	**ユーザーでできるトラブルシューティング（カラム編）** 当社　カスタマーサポート本部	今年はお客さまから特にお問い合わせの多いカラムに関するトラブルシューティングをテーマにしました。カラムが原因で起こるトラブルとして知られているのは、分離不良や保持時間・ピーク形状の異常、圧力の上昇などですが、同じ症状でもカラムが原因ではない場合もあります。本講演では発生している症状に対してカラムが原因であるかどうかの確認方法と対処法、またカラムを長くお使いいただくためのメンテナンス方法をご説明します。
16:50~17:00	16:30〜16:40	**当社からの情報提供／クロージング**	

※各会場では各演題の終了後にQ&Aの時間を設けます。
※セミナーの録画・録音、画面のスクリーンショットはお控えください。また、それらの二次利用もご遠慮ください。
※プログラムは予告なく変更となる場合があります。最新の情報は以下Webサイトをご覧ください。また、当日の進行状況により、各演題の開始時間が前後する場合があります。
※同業他社さまからのお申し込みについてはお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

詳細はこちらをご覧ください　**thermofisher.com/jp-ic-seminar**

研究用にのみ使用できます。診断用には使用いただけません。
© 2025 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.
All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.
実際の価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。
価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
標準販売条件はこちらをご覧ください。 Thermofisher.com/jp-tc　**IC508-A2504OB**

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

お問い合わせはこちら　thermofisher.com/contact